

〒163-8001

東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

東京都 産業労働局 観光部 企画課 MICE 誘致推進ご担当者様

「東京都 MICE 誘致戦略（案）」に対する意見

2023 年 1 月 19 日

一般社団法人日本観光・IR 事業研究機構

理事・事務局長 池田 剛

電話番号：03-3222-7960

E-mail：ikeda@japan-ir.org

※当機構の業種は「観光関係」となります。

「東京都 MICE 誘致戦略（案）」に対する意見

東京は日本の MICE の中核をになうべき venue であり、都が MICE の振興に注力しようとしておられることに敬意を表し、当機構としても協力していきたいと存じます。

今回の MICE 誘致戦略（案）について、以下のとおり不足点の追加等の意見を提出いたしますので、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

No.	ページ	項目	内容
1	P3 P21	企業系会議	<p>— P3 の「○企業系会議」に次を追加することをご検討ください。</p> <p>「報奨・研修旅行(D)ほどではないにせよ、会議ごとに違う場所を選ぶ海外の大企業も少なからずある。」</p> <p>— P21 の「企業系会議」の 2 行目の後に次を追加することをご検討ください。</p> <p>「日本に拠点を有する海外の大企業（日本の拠点に働きかけ、開催支援も提供することが望ましい。）」</p> <p>（理由）例えば投資銀行の雄 G などは、数年前日本で大規模な会議を開きました。日本が開催地となる大規模の場合、日本の拠点对応が大変であり、開催地が支援を事前に申し入れることが望ましい。</p>
2	P4	展示会、イベント等	<p>一つ目の・の「稀である。」の後に「しかし、東京が強みをもつと思われるテーマの展示会等のニーズを発掘、誘致する必要がある。」を追加することをご検討ください。</p> <p>（理由）開催地が定着している展示会等を東京に変更してもらうのは難しいが、新しいものを始める努力を怠るべきではありません。</p>
3	P20	SWOT 分析表 ロジスティクスの「弱み」	<p>— 「ロジスティクス」弱みの「展示場等の不足」の前に「国際会議場、」を追加することをご検討ください。</p> <p>— 目標年次からして施設の完成まではいかないまでも、例えば「大規模な国際会議場、展示場等の施設の民設民営による整備の方法等を企画する。」との趣旨の一文を追加することをご</p>

			<p>検討ください。</p> <p>(理由) 国際会議場も展示施設も欧米アジアの主要国の大都市に比べて東京が劣後している(国際会議場については関西より劣後することになる)ことは明らかです。本案はこうした施設の整備にまったく触れていませんが、避けて通れない課題です。施設に公的資金を出さなくとも、民設民営の方法はあります。</p>
4	P20	SWOT 分析表 開催地としての魅力の「弱み」「脅威」	<p>— 弱みとして「東京ビッグサイトが孤立しており、宿泊・飲食・エンターテインメント施設・文化施設等との統合化がなされていない」との旨の一文を追加することをご検討ください。</p> <p>— 脅威として「自然災害」が挙げられていますが、東京都が打ち出した「TOKYO強靱化プロジェクト」として、MICE施設の避難・救援拠点化を図り、世界から安心して来訪できるようにすべきです。</p>
5	P20	【強み×機会】	<p>「多様性と調和が浸透した MICE」とはどのような MICE なのか不明であり、戦略案において具体的に示すことをご検討ください。</p> <p>(理由) 短期間の大会で「多様性と調和」が浸透しているとする論拠を明らかにする必要があると考えます。</p>
6	P20	【強み×脅威】	<p>— 「多摩地域や島しょ地域など都内の多様な魅力を活かした MICE 開催」とありますが、「近接する、横浜や千葉の魅力を活かした MICE 開催を推進」とするべきだと考えます。</p> <p>— 東京、横浜、千葉とは MICE 誘致で切磋琢磨するとともに、連携をはかり、世界に向けて、東京湾岸全体の魅力も活かす「東京湾岸 MICE」というブランドを打ち出すべきです。</p> <p>— この目標のために、東京湾岸一帯の、陸海空の交通インフラの強化、および、MICE デジタルインフラの強化を行うべきです。</p>
7	P23	(1)2030年に 目指す将来像 ③	「東京 2020 大会のレガシー多様性と調和の浸透による共生社会の進展」と「MICE 誘致に取り組む気運の醸成」の因果関係が不明ですので明確化をご検討ください。

8	P23	(2) KGI	KGI 達成においてバーチャルもしくはハイブリッドでの開催を推進した場合、第1章で述べられた MICE の「高い経済波及効果」や「産業力の強化」が限定的となりますが、どのようにお考えかお示してください。
9	P24	より効果の高いマーケティング力の強化	3つ目の・にある「・・・強化を国」の後に「や JNTO」を追加することをご検討ください。 (理由) 実際に活動すべきなのは抽象的な「国」ではなく、JNTO です。
10	P26	戦略3 デジタル技術の活用促進による MICE 付加価値向上	総務省、NICT が推進している自動翻訳システム (GCP2) の多言語同時通訳技術の活用等による会議品質向上策もご検討下さい。 (理由) 通訳時間の削減に伴う会議時間の短縮、多言語同時通訳によるガイドツアーの効率化などが図れます。
11	P26	戦略4 多様な主体や地域との連携推進 国や業界団体等との連携推進	— 2つ目の・にある「働きかけ」の後に「や会議の準備と運営の支援充実」を追加することをご検討ください。 (理由) 学術会議の場合、教授たちが開催をためらうのは、資金集め、こまごまとした準備等が理由です。 — 2025 大阪関西万博、2030 (仮) 大阪 IR などが予定されている大阪・関西と大型都市型 MICE における連携強化をご検討下さい。 (理由) グローバル視点で見た場合の東日本、西日本を拠点とした大型プログラムによる付加価値向上を検討し、国際都市競争対応戦略に寄与すべきであると考えます。(2021 年東京観光財団と大阪観光局は包括連携提携を締結済)
12	全体	全体	第1章 1(1)(2)で述べられている通り M、I、C、E は性質が異なるため個々の特徴に応じた誘致・開催支援が必要となります

			す。しかしながら KGI は「2030 年における国際会議開催件数世界 3 位以内」であり、C 以外についても、できる限りの誘致努力をするとともに何らかの目標を立てるべきではないでしょうか。
--	--	--	---